

協力医療機関の先生方へ

2010年2月

協力医療機関の先生方へのお願い・説明書

## 「成人における百日咳の把握に関する研究」に対するご協力のお願ひ

謹啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、厚生労働省研究班、加藤達夫班（国立成育医療センター総長）の分担研究・協力研究（第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究）として、成人における百日咳の把握に関する研究を行うことになりました。

国内における百日咳については、2000年頃までの20年間、15歳以上が占める割合は全体の5%程度でしたが、その後特に20代以降で増加し、2008年には40%以上にまで達しています。この2008年には、2000年以降最大の発生件数を記録しました。なお、10歳未満の小児の割合が減ったのは、三種混合DPT（ジフテリア・百日咳・破傷風混合）ワクチンの効果と考えられています。

参考【<http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/337/tpc337-j.html>、<http://idsc.nih.go.jp/idwr/douko/2009d/13douko.html#chumoku1>】

これまで、年長児や成人の百日咳は重要視されてきませんでした。このため、三種混合ワクチンの第二期（通常11-12歳）は、DT（ジフテリア・破傷風混合）のみで行われています。しかし、年長児、成人の百日咳の増加や、周囲への感染性から、彼らへの百日咳の予防が大切であることが注目されてきました。この研究では、第二期のDPT化の重要性を示すため、まずは成人（以下、中学卒業以降を指します）百日咳の病態を明らかにすることを目的としています。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、今後、2010年3月1日から、2012年2月29日（予定）までの2年間の百日咳確定症例全例について、以下をお願いしたいと存じます。当大学において承認された倫理審査の内容も併せて添付いたします。

「百日咳データ&アンケート用紙」：ご記入の上、同封の封筒で慶應義塾大学医学部に送付。

- ・対象は、中学校卒業以降の方の、百日咳確定例です（診断基準は用紙に記載してあります）
- ・2～3枚目は先生方、4～5枚目は患者さんに記載していただきます。
- ・1枚目および医師記載用紙（2枚目）の右上枠内に、必ず通し番号※をご記入ください。
- ・3部ほど同封いたします。不足した場合にはご一報いただくか、お手数ですが複写願います。
- ・個人情報保護のため、返送時には1枚目を取り除いて、2～5枚目（原本または複写）のみお送りください。同封の同意書をご利用の場合は、貴院で保管してください。

何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

研究実施責任者（慶應）：小児科学教室 新庄正宜

m-shinjo@z2.keio.jp

厚生労働省科学研究実施責任者：国立成育医療センター総長 加藤達夫

厚生労働省科学研究分担者：国立病院機構福岡病院 副院長 岡田賢司

国立感染症研究所細菌第二部 荒川宜親

## この郵便物に同封されている内容

- |                                |      |
|--------------------------------|------|
| 1) 協力医療機関の先生方へのお願い・説明書(1枚)     | 1セット |
| 2) この郵便物に同封されている内容(この用紙:1枚)    | 1セット |
| 3) 百日咳の診断 PCR(LAMP 法)について (1枚) | 1セット |
| 4) 百日咳データ&アンケート用紙(5枚)          | 3セット |
| 5) 患者さんへのお願い・説明書(同意書込み3枚)      | 3セット |
| 6) 返信用封筒(切手つき)                 | 1セット |
| 7) 倫理審査結果通知書(7頁)               | 1セット |

以上

4)～6) 足りない場合には、下記までメールをください。郵送いたします。

(成人における百日咳の把握に関する研究)

慶應義塾大学医学部小児科 新庄正宜

[m-shinjo@z2.keio.jp](mailto:m-shinjo@z2.keio.jp)

協力医療機関の先生方へ

## 百日咳の診断 PCR(LAMP 法)について

国立感染症研究所では、百日咳の診断を PCR(LAMP 法)で行うことができます。診療の一環として、鼻咽頭ぬぐい検体を用いた PCR(LAMP 法)による百日咳の診断をご希望の先生方におかれましては、FAXで専用容器をお取り寄せください。この用紙がそのまま FAX 用紙となります(追加の場合はコピーしてご使用ください)。なお、容器代、郵送費(採取検体5本につき1回の郵送費含む)、検査費用は当方で負担します。また、LAMP 法陽性であった場合には、血清のご提供をお願いする場合がございます。

切り取ったり表紙をつけたりせず、このままお送りください

### 百日咳菌 PCR (LAMP 法) 専用容器取り寄せ申し込み書

送 付 元	医療機関名		⇒	国立感染症研究所
	所属			蒲 地
	所在地	〒		FAX 042-561-7173
	担当医師名			
	FAX			
	TEL			

百日咳菌 PCR(LAMP 法)専用容器 注文日 (20 )年 ( )月 ( )日

ご注文のセット数 (1セット=検体容器5個+郵送用箱1箱) 1・2 セット

- ご注意) ①年度末(2月中旬~3月)にお送りいただいた場合、容器の送付は4月となります  
 ②追加の場合には、コピーしていただくか、再度修正してご使用ください  
 ③この用紙は、2012年1月まで有効です

厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)

成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究・第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究

研究実施責任者:国立成育医療センター総長 加藤達夫

研究分担者:国立感染症研究所細菌第二部 荒川宜親

**百日データ&アンケート用紙 全5頁**

対象年齢: 中学校卒業以降

成人(中学校卒業以降)百日咳と確定した症例  
 についてののみ、お答えください

必ずご記入ください →



厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)  
 「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」  
 「第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究 (1. 成人における百日咳の把握)」

患者氏名	ID
病院・医院名	ご担当医のお名前

**個人情報保護のため、**

① 必ずこのページを取り除いて、2-5頁のみ(原本もしくは複写)を、慶應義塾大学にご返送ください。

② この用紙は、研究終了時(2012年2月29日)に必ず破棄して下さるようお願いいたします。それまでは厳重な管理をお願いいたします。

成人百日咳の診断 (1)~(6)のいずれか 中学校卒業以降で、

(1)百日咳菌培養陽性  
 (2)百日咳菌遺伝子解析陽性  
 (3)凝集素価の対血清(ペア血清)  
 流行株(山口株)・ワクチン株(東浜株)いずれかで、4倍以上の上昇  
 (初回と2回目を比較して、4倍以上の上昇)  
 (4)凝集素価高値  
 DPTワクチン未接種者(接種歴不明者を除く)では  
 流行株(山口株)・ワクチン株(東浜株)いずれか40倍以上  
 (5)抗PT抗体の対血清(ペア血清)  
 2倍以上の上昇(初回と2回目を比較して、2倍以上の上昇)  
 (6)抗PT抗体高値  
 DPTワクチン未接種者では 1EU/ml 以上  
 DPTワクチン既接種者・接種歴不明者では 94 EU/ml \* 以上  
 \* 94より低い場合でも、疑わしいときはアンケートをお送りください。

このページを先頭に、  
4ページ分お送りください

この前頁の表紙は、  
個人情報保護のため、  
お送りいただかないよう  
お願いします。

必ずご記入ください

病院名

通し番号

貴部門で提出した

番目の検体

担当医名

記載日 西暦 20 年 月 日

厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)  
「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」  
「第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究 (1. 成人における百日咳の把握)」

成人(中学校卒業以降)百日咳と確定した症例  
についてのみ、お答えください

1 診察所見 実施日 西暦20 年 月 日

2

3 一般検査所見 実施日 西暦20 年 月 日

4	白血球	/ $\mu$ L	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
5	好中球	%	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
6	リンパ球	%	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
7	異型リンパ球	%	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
8	好酸球	%	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
9	その他	%	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
10	赤血球	万/ $\mu$ L	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
11	Hb	g/dl	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
12	血小板	万/ $\mu$ L	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
13	CRP	mg/dl	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
14	ESR	mm/hr	・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
15	生化学他(自由記載)		・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
16	酸素飽和度(SpO <sub>2</sub> )	%		・ 未実施

17	診断検査 1回目	実施日	西暦20	年	月	日		
18	鼻咽頭培養	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
19	他の検出菌( )						・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
20	鼻咽頭PCR	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
21	凝集素価	東浜 ( 倍)	山口 ( 倍)				・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
22	抗PT抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
23	抗FHA抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
24	診断検査 2回目	実施日	西暦20	年	月	日		
25	凝集素価	東浜 ( 倍)	山口 ( 倍)				・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
26	抗PT抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
27	抗FHA抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
28	除外診断検査	実施日	西暦20	年	月	日		
29	マイコプラスマPA	( ) 倍					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
30	マイコ迅速IgM	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
31	クラミジアPn IgA抗体	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
32	クラミジアPn IgM抗体	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
33	クラミジアPn IgG抗体	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
34	尿肺炎球菌抗原	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
35	尿レジオネラ抗原	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
36	レントゲン等	実施日	西暦20	年	月	日		
37	所見						・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
38	ツ反						・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
39	QFT						・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
40	治療・処方	実施日	西暦20	年	月	日		
41	○をしてください → EM・CAM・AZM・その他の抗生物質( )・鎮咳薬・去痰薬・気管支拡張薬							
42	抗生物質の投与期間 ( )日間							
43	備考欄							

厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)  
「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」  
「第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究 (1. 成人における百日咳の把握)」

ABC A	年齢	歳	B	性別	男・女	C	居住区	市区町村
-------	----	---	---	----	-----	---	-----	------

1) 今回の症状について、経験したものの全てに○をしてください。

- 1.乾いたせき
- 2.タンのからむせき
- 3.ぜーぜーするせき
- 4.せき込んだ後にヒューと音のする息を吸う
- 5.急にせき込みが始まる
- 6.コンコンコン・・・と連続するせき
- 7.息がとまりそう
- 8.胸が痛い
- 9.息苦しい
- 10.せきではいてしまう
- 11.せきで腹筋が痛くなる
- 12.せきで顔や首に内出血
- 13.せきで夜、目が覚める
- 14.せきで呼吸がしにくくなる
- 15.せきで肋骨がおれた
- 16.せきで舌をかんでしまう
- 17.鼻水がでる
- 18. 37.5度以上の発熱( 日間)がでる

19.自由記載欄

2) せきは、いつからはじまり、いつ受診し、抗生物質の治療を受けましたか

20	いつからのせきか	西暦	2	:	0	:	年		月		日頃から
21	この件で初めて受診したのは	西暦	2	:	0	:	年		月		日
22	抗生物質の治療開始	西暦	2	:	0	:	年		月		日

23 自由記載欄

3) それぞれについて、あてはまるものに○をしてください

24	結核	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
25	気管支ぜんそく	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
26	誤嚥性肺炎	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
27	胃・食道逆流症	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
28	副鼻腔炎(ちくのう)	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
29	肺線維症	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
30	その他慢性肺疾患	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
31	てんかん	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
32	高血圧	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
33	糖尿病	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
34	ステロイド剤内服	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
35	ステロイド剤吸入	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
36	免疫抑制剤内服	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
37	抗がん剤内服	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
38	抗生物質内服	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
39	三種混合ワクチン(DPT) (昭和39年～)	うったことあり( )回	うったことなし	不明		
	ジフテリア・百日咳・破傷風の混合ワクチン					
40	旧)二種混合ワクチン(DP) (昭和34-51年)	うったことあり( )回	うったことなし	不明		
	ジフテリア・百日咳の混合ワクチン					
41	旧)百日咳ワクチン (昭和～38年)	うったことあり( )回	うったことなし	不明		
	百日咳単独のワクチン					

4) あなたのまわりにいる方にお伺いします

- 42 まわりに百日咳と診断された方はいますか いる いない
- 43 「いる」場合、どなたですか ( )
- 44 その方はあなたと同居していますか 同居している 同居していない
- 45 その方が発病したのは、あなたより( )日くらい( 前・後 )
- 46 それ以外に、まわりに2週間以上咳をしている方はいますか いる いない
- 47 「いる」場合、どなたですか ( )
- 48 その方はあなたと同居していますか 同居している 同居していない
- 49 その方が発病したのは、あなたより( )日くらい( 前・後 )

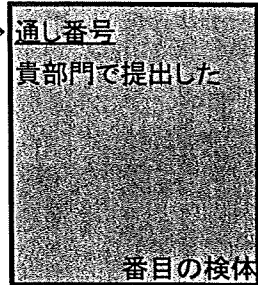


**百日データ&アンケート用紙** **全5頁**

対象年齢: 中学校卒業以降

成人(中学校卒業以降)百日咳と確定した症例  
 についてののみ、お答えください

必ずご記入ください →



厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)  
 「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」  
 「第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究 (1. 成人における百日咳の把握)」

患者氏名	ID
病院・医院名	ご担当医のお名前

**個人情報保護のため、**

- ① 必ずこのページを取り除いて、2-5頁のみ(原本もしくは複写)を、慶應義塾大学にご返送ください。
- ② この用紙は、研究終了時(2012年2月29日)に必ず破棄して下さるようお願いいたします。それまでは厳重な管理をお願いいたします。

成人百日咳の診断 (1)~(6)のいずれか 中学校卒業以降で、

- (1)百日咳菌培養陽性
- (2)百日咳菌遺伝子解析陽性
- (3)凝集素価の対血清(ペア血清)  
 流行株(山口株)・ワクチン株(東浜株)いずれかで、4倍以上の上昇  
 (初回と2回目を比較して、4倍以上の上昇)
- (4)凝集素価高値  
 DPTワクチン未接種者(接種歴不明者を除く)では  
 流行株(山口株)・ワクチン株(東浜株)いずれか40倍以上
- (5)抗PT抗体の対血清(ペア血清)  
 2倍以上の上昇(初回と2回目を比較して、2倍以上の上昇)
- (6)抗PT抗体高値  
 DPTワクチン未接種者では 1EU/ml 以上  
 DPTワクチン既接種者・接種歴不明者では 94 EU/ml\* 以上  
 \* 94より低い場合でも、疑わしいときはアンケートをお送りください。

1. 医師記載用紙 全2頁

このページを先頭に、  
4ページ分お送りください

この前頁の表紙は、  
個人情報保護のため、  
お送りいただかないよう  
お願いします。

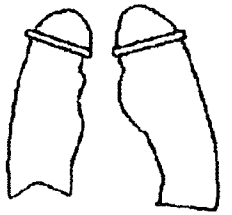
**必ずご記入ください**

病院名	通し番号 貴部門で提出した
番目の検体	
担当医名	
記載日 西暦 20 年 月 日	

厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)  
「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」  
「第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究 (1. 成人における百日咳の把握)」

成人(中学校卒業以降)百日咳と確定した症例  
についてのみ、お答えください

1	診察所見	実施日	西暦20	年	月	日	
2							
3	一般検査所見	実施日	西暦20	年	月	日	
4	白血球	/μL					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
5	好中球	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
6	リンパ球	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
7	異型リンパ球	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
8	好酸球	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
9	その他	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
10	赤血球	万/μL					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
11	Hb	g/dl					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
12	血小板	万/μL					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
13	CRP	mg/dl					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
14	ESR	mm/hr					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
15	生化学他(自由記載)						・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
16	酸素飽和度 (SpO2)	%					・ 未実施

17	診断検査 1回目	実施日	西暦20	年	月	日		
18	鼻咽頭培養	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
19	他の検出菌(	)					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
20	鼻咽頭PCR	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
21	凝集素価	東浜 ( 倍)	山口 ( 倍)				・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
22	抗PT抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
23	抗FHA抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
24	診断検査 2回目	実施日	西暦20	年	月	日		
25	凝集素価	東浜 ( 倍)	山口 ( 倍)				・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
26	抗PT抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
27	抗FHA抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
-----								
28	除外診断検査	実施日	西暦20	年	月	日		
29	マイコプラスマPA	( ) 倍					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
30	マイコ迅速IgM	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
31	クラミジアPn IgA抗体	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
32	クラミジアPn IgM抗体	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
33	クラミジアPn IgG抗体	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
34	尿肺炎球菌抗原	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
35	尿レジオネラ抗原	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
36	レントゲン等	実施日	西暦20	年	月	日		
37		所見	_____				・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
38		ツ反	_____				・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
39		QFT	_____				・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
40	治療・処方	実施日	西暦20	年	月	日		
41	○をしてください → EM・CAM・AZM・その他の抗生物質( )・鎮咳薬・去痰薬・気管支拡張薬							
42	抗生物質の投与期間 ( )日間							
43	備考欄							

厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)  
「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」  
「第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究 (1. 成人における百日咳の把握)」

ABC A	年齢	歳	B	性別	男・女	C	居住区	市区町村
-------	----	---	---	----	-----	---	-----	------

1) 今回の症状について、経験したもの全てに○をしてください。

- 1.乾いたせき                      2.タンのからむせき                      3.ぜーぜーするせき
- 4.せき込んだ後にヒューと音のする息を吸う
- 5.急にせき込みが始まる    6.コンコンコン・・・と連続するせき
- 7.息がとまりそう                      8.胸が痛い                      9.息苦しい
- 10.せきではいてしまう    11.せきで腹筋が痛くなる    12.せきで顔や首に内出血
- 13.せきで夜、目が覚める    14.せきで呼吸がしにくくなる 15.せきで肋骨がおれた
- 16.せきで舌をかんでしまう
- 17.鼻水がでる                      18. 37.5度以上の発熱(                      日間)がでる

19.自由記載欄

2) せきは、いつからはじまり、いつ受診し、抗生物質の治療を受けましたか

20	いつからのせきか	西暦	2	0	年		月		日頃から
21	この件で初めて受診したのは	西暦	2	0	年		月		日
22	抗生物質の治療開始	西暦	2	0	年		月		日

23 自由記載欄

3) それぞれについて、あてはまるものに○をしてください

24	結核	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
25	気管支ぜんそく	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
26	誤嚥性肺炎	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
27	胃・食道逆流症	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
28	副鼻腔炎(ちくのう)	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
29	肺線維症	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
30	その他慢性肺疾患	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
31	てんかん	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
32	高血圧	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
33	糖尿病	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
34	ステロイド剤内服	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
35	ステロイド剤吸入	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
36	免疫抑制剤内服	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
37	抗がん剤内服	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
38	抗生物質内服	現在使っていない現在使っている → 使っている薬名( )				
39	三種混合ワクチン(DPT) (昭和39年～)	うったことあり( )回	うったことなし	不明		
	ジフテリア・百日咳・破傷風の混合ワクチン					
40	旧)二種混合ワクチン(DP) (昭和34-51年)	うったことあり( )回	うったことなし	不明		
	ジフテリア・百日咳の混合ワクチン					
41	旧)百日咳ワクチン (昭和～38年)	うったことあり( )回	うったことなし	不明		
	百日咳単独のワクチン					

4) あなたのまわりにいる方にお伺いします

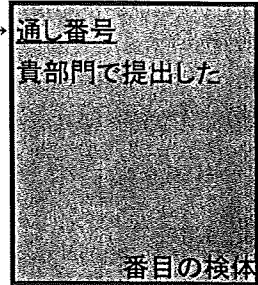
- 42 まわりに百日咳と診断された方はいますか いる いない
- 43 「いる」場合、どなたですか ( )
- 44 その方はあなたと同居していますか 同居している 同居していない
- 45 その方が発病したのは、あなたより( )日くらい( 前・後 )
- 46 それ以外に、まわりに2週間以上咳をしている方はいますか いる いない
- 47 「いる」場合、どなたですか ( )
- 48 その方はあなたと同居していますか 同居している 同居していない
- 49 その方が発病したのは、あなたより( )日くらい( 前・後 )

**百日データ&アンケート用紙** **全5頁**

対象年齢: 中学校卒業以降

成人(中学校卒業以降)百日咳と確定した症例  
 についてのみ、お答えください

必ずご記入ください →



厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)  
 「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」  
 「第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究 (1. 成人における百日咳の把握)」

患者氏名	ID
病院・医院名	ご担当医のお名前

**個人情報保護のため、**

① 必ずこのページを取り除いて、2-5頁のみ(原本もしくは複写)を、慶應義塾大学にご返送ください。

② この用紙は、研究終了時(2012年2月29日)に必ず破棄して下さるようお願いいたします。それまでは厳重な管理をお願いいたします。

成人百日咳の診断 (1)~(6)のいずれか 中学校卒業以降で、

(1)百日咳菌培養陽性  
 (2)百日咳菌遺伝子解析陽性  
 (3)凝集素価の対血清(ペア血清)  
 流行株(山口株)・ワクチン株(東浜株)いずれかで、4倍以上の上昇  
 (初回と2回目を比較して、4倍以上の上昇)  
 (4)凝集素価高値  
 DPTワクチン未接種者(接種歴不明者を除く)では  
 流行株(山口株)・ワクチン株(東浜株)いずれか40倍以上  
 (5)抗PT抗体の対血清(ペア血清)  
 2倍以上の上昇(初回と2回目を比較して、2倍以上の上昇)  
 (6)抗PT抗体高値  
 DPTワクチン未接種者では 1EU/ml 以上  
 DPTワクチン既接種者・接種歴不明者では 94 EU/ml\* 以上  
 \* 94より低い場合でも、疑わしいときはアンケートをお送りください。

1. 医師記載用紙 全2頁

このページを先頭に、  
4ページ分お送りください

この前頁の表紙は、  
個人情報保護のため、  
お送りいただかないよう  
お願いします。

**必ずご記入ください**

病院名	通し番号 貴部門で提出した
担当医名	番目の検体
記載日 西暦 20 年 月 日	

厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)  
「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」  
「第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究 (1. 成人における百日咳の把握)」

成人(中学校卒業以降)百日咳と確定した症例  
についてのみ、お答えください

1	診察所見	実施日	西暦20	年	月	日	
2							
3	一般検査所見	実施日	西暦20	年	月	日	
4	白血球	/μL					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
5	好中球	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
6	リンパ球	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
7	異型リンパ球	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
8	好酸球	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
9	その他	%					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
10	赤血球	万 / μL					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
11	Hb	g/dl					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
12	血小板	万 / μL					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
13	CRP	mg/dl					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
14	ESR	mm/hr					・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
15	生化学他(自由記載)						・ 実施中(結果未着) ・ 未実施
16	酸素飽和度(SpO2)	%					・ 未実施

17	診断検査 1回目	実施日	西暦20	年	月	日		
18	鼻咽頭培養	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
19	他の検出菌( )						・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
20	鼻咽頭PCR	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
21	凝集素価	東浜 ( 倍)	山口 ( 倍)				・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
22	抗PT抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
23	抗FHA抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
24	診断検査 2回目	実施日	西暦20	年	月	日		
25	凝集素価	東浜 ( 倍)	山口 ( 倍)				・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
26	抗PT抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
27	抗FHA抗体	( ) EU/ml					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
28	除外診断検査	実施日	西暦20	年	月	日		
29	マイコプラスマPA	( ) 倍					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
30	マイコ迅速IgM	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
31	クラミジアPn IgA抗体	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
32	クラミジアPn IgM抗体	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
33	クラミジアPn IgG抗体	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
34	尿肺炎球菌抗原	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
35	尿レジオネラ抗原	陽性・陰性					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
36	レントゲン等	実施日	西暦20	年	月	日		
37	所見	_____					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
38	ツ反	_____					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
39	QFT	_____					・ 実施中(結果未着)	・ 未実施
40	治療・処方	実施日	西暦20	年	月	日		
41	○をしてください → EM・CAM・AZM・その他の抗生物質( )・鎮咳薬・去痰薬・気管支拡張薬							
42	抗生物質の投与期間 ( )日間							
43	備考欄							



厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)  
 「成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究」  
 「第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究 (1. 成人における百日咳の把握)」

ABC	A	年齢		歳	B	性別	男・女	C	居住区	市区町村
-----	---	----	--	---	---	----	-----	---	-----	------

1) 今回の症状について、経験したものの全てに○をしてください。

- 1.乾いたせき
- 2.タンのからむせき
- 3.ぜーぜーするせき
- 4.せき込んだ後にヒューと音のする息を吸う
- 5.急にせき込みが始まる
- 6.コンコンコン・・・と連続するせき
- 7.息がとまりそう
- 8.胸が痛い
- 9.息苦しい
- 10.せきではいてしまう
- 11.せきで腹筋が痛くなる
- 12.せきで顔や首に内出血
- 13.せきで夜、目が覚める
- 14.せきで呼吸がしにくくなる
- 15.せきで肋骨がおれた
- 16.せきで舌をかんでしまう
- 17.鼻水がでる
- 18. 37.5度以上の発熱( 日間)がでる

19.自由記載欄

2) せきは、いつからはじまり、いつ受診し、抗生物質の治療をうけましたか

20	いつからのせきか	西暦	2	0	年		月		日頃から
21	この件で初めて受診したのは	西暦	2	0	年		月		日
22	抗生物質の治療開始	西暦	2	0	年		月		日

23 自由記載欄

3) それぞれについて、あてはまるものに○をしてください

24	結核	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
25	気管支ぜんそく	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
26	誤嚥性肺炎	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
27	胃・食道逆流症	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
28	副鼻腔炎(ちくのう)	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
29	肺線維症	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
30	その他慢性肺疾患	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
31	てんかん	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
32	高血圧	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
33	糖尿病	なったことなし	なったが治療せず	治療したことあり	現在治療中	不明
34	ステロイド剤内服	現在使っていない現在使っている		→使っている薬名( )		
35	ステロイド剤吸入	現在使っていない現在使っている		→使っている薬名( )		
36	免疫抑制剤内服	現在使っていない現在使っている		→使っている薬名( )		
37	抗がん剤内服	現在使っていない現在使っている		→使っている薬名( )		
38	抗生物質内服	現在使っていない現在使っている		→使っている薬名( )		
39	三種混合ワクチン(DPT) (昭和39年～)	うったことあり	( )回	うったことなし	不明	
	ジフテリア・百日咳・破傷風の混合ワクチン					
40	旧)二種混合ワクチン(DP) (昭和34-51年)	うったことあり	( )回	うったことなし	不明	
	ジフテリア・百日咳の混合ワクチン					
41	旧)百日咳ワクチン (昭和～38年)	うったことあり	( )回	うったことなし	不明	
	百日咳単独のワクチン					

4) あなたのまわりにいる方にお伺いします

- 42 まわりに百日咳と診断された方はいますか いる いない
- 43 「いる」場合、どなたですか ( )
- 44 その方はあなたと同居していますか 同居している 同居していない
- 45 その方が発病したのは、あなたより( )日くらい( 前・後 )
- 46 それ以外に、まわりに2週間以上咳をしている方はいますか いる いない
- 47 「いる」場合、どなたですか ( )
- 48 その方はあなたと同居していますか 同居している 同居していない
- 49 その方が発病したのは、あなたより( )日くらい( 前・後 )

(厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)

成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究

第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究

## 「成人における百日咳の把握に関する研究」に対するご協力のお願い

研究実施責任者(慶應):小児科学教室 新庄正宜

厚生労働省科学研究実施責任者:国立成育医療センター総長 加藤達夫

厚生労働省科学研究分担者:国立病院機構福岡病院 副院長 岡田賢司

国立感染症研究所細菌第二部 荒川宜親

### 1 研究目的

これまで、年長児や成人の百日咳は「軽症」とされ、重要視されてきませんでした。また、成人の百日咳は、あなたのように、「長引く咳」などから疑って、検査をして始めて診断がつくことがしばしばです。

現在、三種混合DPT(ジフテリア・百日咳・破傷風混合)ワクチンの第二期(通常11-12歳)は、DT(ジフテリア・破傷風混合)のみで行われています。しかし、年長児、成人の百日咳の増加や、周囲への感染性から、彼らへの百日咳の予防が大切であることが注目されてきました。

この研究では、第二期のDPT化の重要性を示すため、まずは成人(以下、中学卒業以降を指します)百日咳の病態を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、成人百日咳の予防、治療の向上に役立てられます。

なお、この研究は、厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症 研究事業)成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究 第2期にDTをDPTワクチンとする為の研究(研究実施責任者:国立成育医療センター総長 加藤達夫 研究分担者:国立病院機構福岡病院 副院長 岡田賢司 国立感染症研究所細菌第二部 荒川宜親)の一部です。

### 2 研究協力の任意性と撤回の自由

この研究への協力はあなたの自由意思で決めて下さい。強制では全くありません。同意しなくても、あなたが不利益を受けることなく最善の医療を提供いたします。

また一旦同意した場合でも、あなたが不利益を受けることなく、いつでも同意を取り消すことができます。その場合、解析結果は廃棄され、それ以降は研究のために用いられることはありません。ただし、同意を取り消した時点ですでに研究結果が論文などで公表されていた場合、あるいは個人情報明らかにする可能性がない場合には、研究結果を廃棄できないことがあります。

### 3 研究方法・研究協力事項

百日咳と診断された患者さんの臨床情報（患者さんからのアンケート、および担当の先生からのデータ）の提供をお願いしています。2ページのアンケートのご協力に、10～15分程度のお時間をいただきます。この結果をもとに、成人百日咳の把握を行います。この文書の内容をよく御理解いただいた上で研究協力にご同意いただける場合には、「研究協力の同意書」にご署名をお願いします。

### 4 研究協力者にもたらされる利益および不利益

アンケートにお答えいただくお手間と、10～15分程度のお時間をいただきます。また、あなたの診療に必要な情報は個人情報保護に十分配慮しながら使用させていただきます。

### 5 個人情報の保護

臨床情報や検査結果は個人情報（プライバシー）であり、厳重に保護され、他人には決して漏らしません。あなたの臨床情報やアンケートの内容から、住所、氏名、生年月日、カルテ番号など個人を特定できる情報が削除され、代わりに新しく番号や符号をつけて、だれの臨床情報かがわからないように郵送されます（匿名化）。また、研究が終了した際には、記載された「百日咳データ&アンケート用紙」を破棄します。

### 6 研究計画書等の開示

希望により、ご本人（未成年の場合には代諾者）が、この研究に関する資料を入手または閲覧することが可能です。その際には、12.問い合わせ先にご連絡ください。

### 7 協力者への結果の開示

希望により、ご本人（未成年の場合には代諾者）が、この研究に関する集計結果を入手または閲覧することが可能です。その際には、12.問い合わせ先にご連絡ください。

### 8 研究成果の公表

あなたのご協力によって得られた研究の成果は、ご本人やご家族の氏名などが明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌およびデータベース上で公表されることがあります。

### 9 研究から生じる知的財産権の帰属

解析研究の結果として知的財産権（特許権など）が生じる可能性があります。その権利は国、研究機関、民間企業を含む共同研究機関および研究遂行者などに属し、あなた（または研究協力者および代諾者）には権利がないことをあらかじめご了承ください。